

当院を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	自動多項目遺伝子検査システム Verigene 血液培養グラム陰性菌・薬剤耐性核酸テスト (BC-GN) が抗菌薬治療に及ぼす効果
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理 責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(担当科) 臨床感染症学講座 (職名) 教授 (氏名) 三鴨廣繁
試料・情報の利用目的 及び利用方法	[利用目的] 本研究では、血液培養でグラム陰性桿菌が発育した患者さんに対し Verigene 血液培養グラム陰性菌・薬剤耐性核酸テスト (BC-GN) を実施した場合、抗菌薬の変更によどのような影響があったかを調査します。 [対象となる患者さん] 2021年1月から2024年12月までに血液培養からグラム陰性桿菌が発育した患者さんにおいて、Verigene BC-GN が施行された方。 [研究期間] 研究実施承認日 ~ 2025年3月31日 [利用方法] 対象となる患者さんについて、「血液培養採取時」、「Verigene BC-GN 実施後」、「薬剤感受性検査後」の3点の抗菌薬投与歴を情報収集し、Verigene BC-GN の検査結果によって抗菌薬が変更された割合を算出します。
利用又は提供する試料・情報の項目	試料：該当なし 情報：診療情報から抗菌薬投与歴、微生物検査データ、治療経過など。
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	非該当
提供する試料・情報の取得の方法	試料：非該当 情報：非該当
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究機関名・研究責任者名	非該当

利用する者の範囲	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2025年2月28日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学 臨床感染症学講座 担当者：教授 三嶋廣繁 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 22353）